

保護者の方からの弁当の日の感想

一緒に買い物に行って何を入れるか相談しながら、食材を選びました。結局、弁当の日は本人がなかなか起きてこないで、こちらで調理をしましたが、最後の仕上げは、自分でしてくれました。高校生になったら、毎日お弁当になるので、詰めるだけでもいいので頑張ってもらいたいです。作ってもらうのを当たり前だと思わず、自分でできることを自分で考えてやれる人になってほしいと思っているので、そういうきっかけを与えていただけてよかったです。

前の日の夜からお弁当のために仕込みを始めて、朝はいつもより早く起きて、いろいろ考えながら作ってる姿がなんだか頼もしく見えました。女の子なので少しでもこれから料理を覚えてほしいです。今回もとても上手にできたと思います。

お弁当作りは頑張って作ったこともあるのか、家族に「これ食べてみて」など言うようになり、料理に自信が持てたり、ふるまえる余裕もできたように感じました。小学生の兄弟も同様に取り組み、限られたスペースで作る順番や場所を譲り合いながら行なえたり、洗い物を完了するまでが料理だからと進んで片付けをすることもでき、成長を感じました。弁当の日をまた継続していただけるとよいと思いました。ありがとうございました。

彩りを気にしながら、「何を詰めよう？」と悩みながら、結局、自分の好きなものばかりつめていましたが、1から考え、完成させた弁当はおいしかったと思います。「お母さんの大変さが少しわかった」と感じてくれただけでも、来年からの高校での弁当も今までとは違った思いで食べてくれるかなと思います。

お弁当を自分で作るのはいいことだと思います。ただ、うちは、共働きで下の子は小学生、朝はとても忙しいのでお弁当作りを教えるのには、良い環境とは言えません。学校での給食を減らしてまでやる企画でしょうか。できれば今年度で終わりにしていただきたいです。

お弁当を作る為に早起きをしたり、彩りを考え、お弁当箱にどのように詰めればおいしそうに見えるかなど朝からいろんな事を考え作っていました。お弁当の日をきっかけに食に対して関心を持ってくれたようです。

朝早くには、起きれないので、夜のうちに卵を焼いたり、自分なりに工夫して時間のかかるものなどの準備をしていました。

朝が弱い娘は、まず、早起きするのが大変なようでした。調理に入ると、どのおかずを先に作るかなど効率よくできるように工夫している様子でした。卵焼きは、味付けが少し薄くなってしまい、焼く時もうまくまとまらなかったため、今度練習したいと話していました。おかずを詰める際は、彩りやバランスを考えて配置したり、切って大きさを整えたりしていました。この「お弁当の日」がなければ、自分で作ることはなかったと思います。まだ、一人で完璧に作れるわけではありませんが、休日等を利用して、一緒に作って一人で作れるように見守っていきたいと思います。

朝のお忙しいところ、それぞれのご家庭で弁当作りを見守っていただき、誠にありがとうございました。ご批判いただいたこと、ごもっともだと思います。たいへん申しわけありませんでした。趣旨をきちんとご説明していなかったことを深く反省しております。しかしながら、生徒達の自立のため、卒後後の一人暮らしを始める時のためにも、子どもが失敗しながら成長していく体験を持たせる機会を年に数回だけ設定させていただきたいと思います。今後も、子ども達が失敗しても、信じて任していただきますよう、お願いいたします。

校長 武藤幸意